

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1123 号	氏名	西原 三佳
学 位 審 査 委 員	主 査 本田 純久 副 査 田中 悟郎 副 査 江藤 宏美		
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価 本研究は、災害後のコミュニティにおける就学前児をもつ母親を対象に、育児に関するソーシャルサポートと、社会人口学的特性および社会的環境との関連を分析したものであり、研究目的は十分に妥当である。			
2 研究手法に関する評価 東日本大震災被災地である岩手県沿岸気仙地域において、6 カ月から 42 カ月の子どもを持つ母親を対象に、自記式質問票調査を実施した。調査項目は、基本属性、社会的環境、育児困難感および育児に関するソーシャルサポートであった。育児に関するソーシャルサポートは、家族からの「精神的サポート」、家庭以外での「居場所づくり」、育児代替などの「育児ヘルプ」の 3 つのカテゴリーに分類した。統計解析には、カイ 2 乗検定およびロジスティック回帰分析が用いられており、研究手法も妥当である。			
3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、同居外の親戚からのサポートを受けていることは、「精神的サポート」および「育児ヘルプ」と有意に関連しており、災害前からの近隣知人がいることは、「居場所づくり」および「育児ヘルプ」と有意に関連していた。災害前からの近隣知人の存在は、育児ソーシャルサポートの獲得を促進する要因の一つであることが明らかとなり、災害後のコミュニティにおける母親の健康、育児支援を考える上で、災害前からの地域住民の関係性を考慮することの重要性が示唆された。			
以上のように本論文は母親への育児ソーシャルサポートの研究に貢献するところが大であり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			